

回 答

団体名（日本労働組合総連合会大阪府連合会）

（要望項目）

2 (3) アジアと関西を結ぶ中継都市戦略と観光産業の強化について

① ハブ化に向けた機能強化企業誘致施策の拡充及び次世代産業の集積化について

アジアと関西を結ぶ中継都市（阪神港・関西国際空港）のインフラを活用して、観光・物流のハブ化に向け、機能強化を図ること。また、他府県や海外への大阪産業のPRや支援施策を講じること。

（回答）

阪神港では、現在、内航フィーダー網の充実による集荷の促進や、産業の立地促進による新たな貨物の創出、民の視点からの港湾経営主体の確立といった、国際コンテナ戦略港湾としての目指すべき姿の実現のための戦略に関する様々な取り組みを行っているところです。

また、国においては、阪神港を含む国際コンテナ戦略港湾を、日本経済再生に向けた緊急経済対策における「成長による富の創出」を実現するための基幹的交通インフラとして位置付け、整備推進を行うこととしております。

このような中、本府においても、阪神港の機能強化に向け、「関西イノベーション国際戦略総合特区」において申請に盛り込んだ規制緩和等の各種特例措置の実現を、引き続き国に求めてまいります。

関西国際空港については、本年7月に大阪国際空港と経営統合し、両空港の一体運営が開始されました。

これに先立ち、平成24年6月に国土交通大臣が告示した「基本方針」において、関西国際空港について、国際拠点空港としての機能の再生及び強化を図ることなどを目的に、LCC拠点や国際貨物ハブ空港としての機能強化、アクセス利便性の改善等の方針が示されたところです。

本府の「大阪の成長戦略」においても、大阪・関西が目指すべき方向性として「中継都市」を挙げ、関西国際空港のインフラを最大限活用し、アジアと日本各地との「ヒト・モノ・カネ」の結節点・玄関口として我が国全体の成長を牽引するとしています。

本府としては、関空の利用促進とさらなる活性化を図る観点から、地元自治体や経済界で構成する関西国際空港全体構想促進協議会（促進協）の枠組みを通じて、今後も就航ネットワークの充実や航空物流の拠点化など、関空のハブ機能強化に向けた戦略的な取組を行ってまいります。

平成23年12月に国から指定を受けた「関西イノベーション国際戦略総合特区」への企業進出を推進するため、国内企業・各種団体等への訪問活動や在京大使館を対象としたセミナー等を通じ、大阪産業等のプロモーション活動を行っております。

また、中国をはじめとするアジア地域において経済成長が期待される主要都市へ、知事を団長とするミッション団を派遣し、現地にて知事の発信力を生かした大阪産業のPRを行っております。

府の海外拠点である上海事務所においては、中国で開催される展示会等で、大阪の産業情報を発信、企業の技術及び製品の紹介等のPRを実施しております。

今後とも、府内企業や関係機関と連携の下、大阪産業のPRに努めてまいります。

<24年度実績>

【セミナーでのPR】

○OSAKA Business Seminar in Tokyo

主催：大阪市・大阪府

日時：2012年8月28日（火）13：00～15：30

場所：en-japan オフィス 新宿アイランドタワー35階会議室

対象：在京大使館等50名

○第12回「地域の魅力発信セミナー」

主催：外務省（共催：栃木県、大阪府、大阪市及び堺市）

日時：2013年1月22日（火）14：30～16：30

場所：外務省新庁舎7階 講堂

対象：在京大使館等100名

【トッププロモーション】

○ミャンマー（ヤンゴン）・タイ（バンコク）H24.9.16-20

（回答部局課名）

都市整備部 港湾局 計画調整課

政策企画部 空港戦略室

商工労働部 企業誘致推進課、商工振興室 経済交流促進課